

議員定数削減に関する請願は否決

9月定例会で生駒市議会は定数を24人から20人にする議員提出議案を否決しましたが、12月定例会には22人に削減する請願書が提出されました。(紹介議員：樋口稔・山田弘己議員)

しかし、請願理由は9月議案と同趣旨で、これでは賛成できるはずありません。委員会審査では、9月には提案理由に賛同できないと議案に反対した市民派クラブが、賛成する立場で紹介議員になることの支離滅裂さに批判が集中しました。

●議員定数削減に関する請願

*中谷議長(凜翔 絆)は採決に加わらず

賛成	角田・樋口稔・山田弘己(市民派クラブ) 有村・吉波・沢田(生活・市民ネット) 山田耕三(維新の党) 西山(無会派)
反対	下村・恵比須・成田(生駒市議会公明党) 上原・浜田・竹内(日本共産党) 白本・桑原・吉村(凜翔 絆) 山田正弘・井上・樋口清士・中浦(仁政の会) 伊木(無会派) 塩見(無会派)

そろそろ、議会の質を高める議論をしませんか？

選挙前の恒例行事となりつつある議員定数削減関連議案。なぜいつも議会の質の向上の話は置いてきぼりなのでしょう？議論しない、説明責任を果たさない、市長提案丸飲みで独自に調査しない、政策提案しない…ここを改善せずに定数だけ減らしても行政天国をつくるだけです。

塩見まきこの東奔西走・南船北馬

活動の一部です。詳細は「塩見まきこの活動日記」(ブログ)をご覧ください。



11月1日 近畿自治体学会フォーラム in 川西
人口減少社会における地域自治協議会のありかたについて、中川幾郎帝塚山大名誉教授の講演会と自治体の職員らによるパネルディスカッション。



11月8日 ローカルマニフェスト推進地方議員連盟奈良勉強会
県内のLM推進議員らで勉強会を企画。北川正恭早稲田大学教授の講演ほか、仲川奈良市長、今村西宮市長、井岡奈良県議会副議長らによるパネルディスカッション、グループワークなど盛りだくさんの内容。



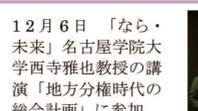
11月16～17日 生駒市議会市民懇談会
今年度は「若者の定住化」をテーマにグループワーク。毎度のことながら参加者をどう増やすかに課題が残りました。



11月18～19日 沖縄知事選直後、那覇→読谷村→名護→辺野古→普天間→那覇の行程で沖縄めぐり。キャンプシュワブ前で辺野古への基地移転反対運動に遭遇。



11月22日 政策研究ネットワーク「なら・未来」例会で「生駒市市民投票条例」について事例報告。



12月6日 「なら・未来」名古屋学院大学西寺雅也教授の講演「地方分権時代の総合計画」に参加。

サロンド しおみ 茶論・de・403



日時：2月 8日(日)
13:30～15:30

場所：コミュニティセンター 403会議室
参加費：無料

どなたでもご参加いただけます。

- 山下市政と議会との関係を振り返る
- 生駒市のこれからの課題と塩見の抱負

ニュースレター編集中に山下市長の知事選出馬のニュースが飛び込んできました。

教育委員会での議論をすっ飛ばした小中一貫校「建設事業」、環境モデル都市認定応募のため再議にまで付して無理やり予算を通したスマートコミュニティ推進奨励金、そして今なおくすぶっている北部スポーツタウン構想と北大和グラウンド低炭素まちづくり事業…これら無計画事業の数々はすべてこのための準備だったのだと合点がいきました。

市長一期目は前市政の大掃除としての入札制度、補助金制度などの行政改革、市政への市民参加も進み、私も高く評価していました。しかし、二期目に議会にも子飼いの議員が増えて安定政権を築くと、計画や市民合意や手続きをないがしろ

にしたトップダウンの事業が目につきたし、残念ながら、これまでニュースレターでお伝えしてきたような市政批判を私もせざるを得ない状況になりました。

知事選出馬に伴う市長の辞職が早ければ3月中、遅くとも4月の市議会議員選挙と同日に市長選挙が執行されます。

権力を手にした者はより強い権力を手に入れたがりです。自らの権力の大きさを自覚し、それを制御できるしるしを作れる首長が選ばれるとともに、自らの役割を認識し、権力に媚びることなく、しっかり行政を監視できる能力を持つ議員が生駒市議会に一人でも増えることを願ってやみません。

塩見牧子



山下市長、知事選出馬へ！

無責任極まる。市長自身が起こした火種を消すことなく辞任？

1月5日、山下市長は県庁で記者会見を行い、来年4月に執行される奈良県知事選挙に出馬することを表明しました。市長は、市政の重要課題はほぼ解決のめどがついたと述べていますが、昨年1月の市長選で三選したばかりであるうえ、この1年半の最大の「天の声事業」である生駒北スポーツセンターの開設と北大和グラウンド低炭素まちづくり事業に関しては、地元住民との合意が今なお得られておらず、北大和グラウンドの市街化区域編入や土地処分の議決もまだであり、「めどがついた」とは言いがたい状況。この状況での辞任は無責任極まりありません。

*市長自身が起こした火種なのに…

11月27日の臨時会に、「生駒北スポーツセンターの多目的グラウンド整備工事請負契約について」議案が提出されました。「塩見まきこ市議会ニュースレター」前号でお伝えしたとおり、地元獅子が丘自治会から住民の9割の方々の署名を添えて工事の差し止め要望が市に提出されており、市はそれを無視したかたちです。

サンヨースポーツセンター時代の10倍以上の利用を見込む施設を、閑静な住環境を求めて住まわれている獅子が丘住宅地の中に設置すれば、住環境悪化を懸念する声上がるのは、少し想像力を働かせれば容易なことです。

しかも、一昨年8月の地元説明会で、市長は、地元が反対ならば事業を進めないとまで発言しており、地元の方々

は、市が強引に事業を進めるようなことはしないであろうという認識でおられたと思われ

ます。地元自治会の「合意条件」を一昨年10月に受け取りながら、市

がそれに対応したのも、予算も通ったあとの今年度に入ってからです。

私はこの事業に反対でしたが、予算も通って事業が始まってしまった以上は、できる限り効果が目に見える運営を考えなければいけないと考えています。とはいえ、それには最低限、事業の影響を最も受ける地元の大多数の合意を得ることが不可欠で、今のように大多数が納得していない中



地元自治会館やスポーツセンター周辺道路には自治会の「工事着工反対」の看板が。

私はこの事業に反対でしたが、予算も通って事業が始まってしまった以上は、できる限り効果が目に見える運営を考えなければいけないと考えています。とはいえ、それには最低限、事業の影響を最も受ける地元の大多数の合意を得ることが不可欠で、今のように大多数が納得していない中

で強引に事業を進めることは、市民協働のまちづくりを謳う生駒市にとってとても格好の悪いことです。

また、自ら火種を作っておきながら後始末は職員に任せて知事選への出馬表明をした山下市長の無責任はとがめられるべきです。

*何のための市民懇談会？

一方、議会の対応もお粗末です。

臨時会直前の生駒市議会市民懇談会の席上、参加された地元住民の方から、地元自治会は生駒北スポーツセンターの開設に合意していないことを知って議員は購入に賛成したのかと問い詰められる一幕がありました。

これを受け、環境文教委員会では、住民の合意を取り付けられるまで踏みとどまり再提案すべしという意見も出ましたが、結局、賛成意見もなければ賛成討論もなく可決。住民の声を聞きながら議論もしないのでは、いったい何のために開催する市民懇談会なのでしょう…。

●生駒北スポーツセンターの多目的グラウンド整備工事請負契約について

*中谷議長(凜翔 絆)は採決に加わらず。

賛成	下村・恵比須・成田(生駒市議会公明党) 桑原・吉村(凜翔 絆) 角田・樋口稔・山田弘己(市民派クラブ) 有村・吉波・沢田(生活・市民ネット) 山田耕三(維新の党) 西山(無会派)
反対	上原・浜田・竹内(日本共産党) 山田正弘・井上・樋口清士・中浦(仁政の会) 白本(凜翔 絆) 塩見(無会派)
退席	伊木(無会派)

塩見牧子(しおみまきこ) 1965年3月8日大阪生まれ。1972年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て2007年4月から生駒市議会議員。(現在2期目) 将来世代にツケを残さないサステナブル(持続可能)なまちづくりと、市民の声を政策に転換できる議会の形成を目指しています。

塩見まきこの議会活動情報は
こちらから。

塩見まきこ

検索

生駒市議会議員 塩見まきこ公式サイト
shiomimakiko.com/

塩見まきこの活動日記(ブログ)
katudo403.exblog.jp/



@SHIOMIMAKIKO



https://www.facebook.com/makiko.shiomi.1